

このマニュアルで PasswordWallet (tm) の全ての機能を説明します。問題が生じた場合に F A Q (よく聞かれる質問) セクションをご覧ください。

目次

はじめに

メニュー

 ファイルメニュー

 編集メニュー

 並び替えメニュー

 財布メニュー

財布ウインドウ

アプリケーション環境設定

自動入力機能 (ユーザー名とパスワードはウェブページに自動的に入力されます)

動作環境

アップグレード方法

インストール方法

PasswordWallet (tm) コンジットのインストール

PasswordWallet (tm) コンジットの設定

F A Q (よく聞かれる質問)

はじめに

PasswordWallet (tm) であなたの全てのユーザー名とパスワードを簡単に素早く保管することができます。PasswordWallet (tm) で保存されたパスワードは強力な「BlowFish」技術によって暗号化されますので、マスターパスワードを知らない限りあなたのパスワードをアクセスすることができません。このソフトウェアの強力な暗号化技術は米国政府により輸出管理されています。このソフトウェアを配布するために米国輸出管理法 (EAR) セクション 740.17 (ENC) に従い暗号化技術を輸出するための特別許可が下りています。

1. PasswordWallet (tm) をダブルクリックすると新しい財布ウインドウが開かれます。
2. 財布に項目を追加するために「新規項目」ボタンをクリックします。
3. あなたの全てのパスワードを財布ウインドウに追加します。
4. ファイルを閉じます。ファイルのマスターパスワードを設定することができるダイアログは表示されます。
5. それだけです！

ファイルメニュー

新規財布：PasswordWallet (tm) の新しいパスワードファイルを作成します。PasswordWallet (tm) で同時に開くことができるファイル数はシステムの (MacOS X) か、PasswordWallet のメモリ条件設定 (MacOS 9) に限られます。

財布を開く：存在している PasswordWallet (tm) ファイルを開きます。このコマンドによって PasswordWallet (tm) バージョン 1.X で作成したファイルをバージョン 2.X へ取り込むことができます。バージョン 2.X でパスワードファイルの名前を自由に設定することができます。また、バージョン 2.X のファイルを PasswordWallet (tm) アプリケーションと同じフォルダに入れる必要はありません。

閉じる：最前面の PasswordWallet (tm) 書類を閉じます。財布メニューの「自動保存」オプションが選択されている場合に変更部分は自動的に保存されます。詳しくは「財布メニュー」セクションをご覧ください。

保存：パスワードファイルの変更部分を手動で保存します。変更部分がない場合はこの項目が使用不可能になります。

別名で保存：最前面の PasswordWallet (tm) ファイルを新しいファイルとして保存します。この操作を実行する前に財布メニューの「パスワード変更」コマンドを使用すると新しいファイルで別のマスターパスワードを使用することができます。

復帰：書類を以前に保存した時の状態へ戻します。変更部分は全て削除されます。

テキストファイルを取り込む：タブ区切りテキストファイルは PasswordWallet の最前面のファイルへ取り込まれます。プレーンテキストファイルしか取り込むことができません。Microsoft Word や Excel でファイルをプレーンテキストとして保存することができます。スプレッドシートをテキストとして保存すると各コラムは取り込むために正しくフォーマットされます。

このコマンドを取り消すことができません！ファイルを取り込む前に PasswordWallet (tm) の書類を必ずバックアップして下さい。

取り込むことができるフォーマット：

タイトル [タブ]URL[タブ]ユーザー名 [タブ]パスワード [タブ]メモ [改行]

ファイルの行末は Macintosh、Windows、Unix フォーマットのどちらでもかまいません。

テキストファイルへ書き出す：現在のパスワードファイルはテキストファイルとして保存されます。フォーマットは上記の「取り込む」コマンドと同様になります。

終了：PasswordWallet アプリケーションを終了させます。書類が閉じられる前に変更部分を保存することができるは表示されます。

編集メニュー

取り消す：テキストの入力を取り消すことができます。

カット/コピー/ペースト：通常の macOS クリップボード機能をテキスト入力フィールドで使用します。また、複数ファイル間にパスワード項目をコピー&ペーストすることもできます。

ユーザー名をコピー：選択された項目のユーザー名フィールドをクリップボードへコピーします。クリップボードはコピーの 30 秒後に自動的にクリアされます（この時間の設定は初期設定ダイアログで選択できます）。ただし、他の項目をコピーするとクリップボードがクリアされるまでの時間はリセットされます。 PasswordWallet (tm) が最前面のアプリケーションでないとこの機能は使用不可能となります。 PasswordWallet (tm) がバックグラウンドである場合、最前面になるまでにクリップボードはクリアされません。

パスワードをコピー：選択された項目のパスワードフィールドをクリップボードへコピーします。クリップボードはコピーの 30 秒後に自動的にクリアされます（この時間の設定は初期設定ダイアログで選択できます）。ただし、他の項目をコピーするとクリップボードがクリアされるまでの時間はリセットされます。 PasswordWallet (tm) が最前面のアプリケーションでないとこの機能は使用不可能となります。 PasswordWallet (tm) がバックグラウンドである場合に最前面になるまでにクリップボードはクリアされません。

URL をコピー：選択された項目の URL をクリップボードへコピーします。URL をコピーする場合にクリップボードはクリアされません。

検索：各項目の「名前」フィールド内のテキストを検索することができるダイアログは表示されます。前回に検索されたテキストはデフォルトで自動的に入力されます。最初の検索された項目選択されます。一致する項目がない場合は警告音が鳴ります。検索コマンドで大文字と小文字は区別されません。

次を検索：同じテキストで次ぎに一致する項目を検索します。一致する項目がない場合は警告音が鳴ります。

初期設定： PasswordWallet (tm) の初期設定ダイアログを表示します。詳しくは初期設定セクションをご覧ください。

並び替えメニュー

タイトル：全ての項目はタイトルによって並び替えられます。

URL：全ての項目は URL によって並び替えられます。

ユーザー名：全ての項目はユーザー名によって並び替えられます。

パスワード：全ての項目はパスワードによって並び替えられます。

修正日：全ての項目は修正日（秒単位まで）によって並び替えられます。

財布メニュー

新規項目を作成：新しい項目のデータを入力するダイアログは表示されます。フィールド内で編集メニューのコマンドが使用できます。フィールドは下記の通りです：

1. **タイトル**：財布項目のタイトル
2. **URL**：Uniform Resource Locator（URL）はインターネットアドレスを記憶するためのフォーマットです。ウェブサイトや FTP サイトのアドレスは「http://mysite.com」や「ftp://mysite.com」のように書きます。このフィールドで入力された URL は「URL を開く」コマンドによって自動的に開くこともできます。
3. **ユーザー名**：項目のユーザー名
4. **パスワード**：項目のパスワード
5. **確認（フィールド）**：パスワードを確認するためにもう一度入力します。
6. **確認（チェックボックス）**：このチェックボックスを選択するとパスワードはブレインテキストで表示されます。確認のテキストフィールドは表示されません。
7. **メモ**：255 文字（半角ローマ字の場合）のメモをこのフィールドで入力することができます。255 文字以上のテキストは自動的に切り捨てられます。

項目を編集：選択された項目を編集するためのダイアログは表示されます。このダイアログは上の「新規項目を作成」ダイアログと同じです。また、項目をダブルクリックするだけでこのダイアログを表示させることもできます。

項目を取り除く：選択された項目は削除されます。

データを隠す：PasswordWallet 内の項目データは隠されます。データの変わりに丸は表示されます。

URL を開く：選択された項目の URL（ウェブサイト、FTP サイトなど）は自動的に開かれます。このコマンドが正しく機能しない場合に URL の前に「http://」を追加してみてください。

全ての項目を閉じる：項目の左側の三角アイコンをクリックする時と同様に財布内の全ての項目は閉じられます。

全ての項目を開く：項目の左側の三角アイコンをクリックする時と同様に財布内の全ての項目は開かれます。

カラー設定：項目のタイトルのバックグラウンドで表示される色を設定します。オプションキーを押しながらこのコマンドを選択するとこの設定はデフォルト設定へ戻ります。

パスワード設定（変更）：現在のファイルにアクセスするためのマスターパスワードを設定（変更）します。このパスワードを知らない限りファイルを一切開くことができません。このパスワードは MacOS のキーチェーン内で保存する場合に「キーチェーンで保存」チェックボックスを選択します。

自動保存：このメニュー項目を選択すると自動保存オプションの設定が切り替えられます。メニュー項目がチェックされた場合に書類の変更部分は自動的に保存されます。このメニュー項目がチェックされていない場合、書類を閉じる時に変更部分を保存することができるダイアログは表示されます。自動保存は書類を閉じる時と Palm とシンクロナイズする時に行います。

書類をファインダーで表示：現在使用中の書類はファインダーで表示されます。

PasswordWallet (tm) ウィンドウで財布内の全ての項目の一覧が表示されます。項目をクリックして選択します。選択された項目を削除したり、編集したり、クリップボードへコピーしたりすることができます。詳しくは上のメニューセクションをご覧ください。

新規項目ボタン

このボタンは財布メニューの「新規項目を作成」コマンドと同じです。クリックすると財布内で新しい項目は作成されます。

財布項目の一覧

項目をダブルクリックすると編集したり、メモを表示したりすることができます。

矢印キー（）キーで次の項目 / 前の項目を選択することができます。

リターンやエンターキーを押すと選択された項目を編集したり、メモを表示したりすることができます。

矢印キー（）キーで現在選択されている項目を閉じたり、開いたりすることができます。

パスワードのタイトルを打つと財布内の一致した項目は自動的に選択されます（半角ローマ字の場合のみ）。

タブを打つと並び替え順と関わらず、ABC 順で次の項目は自動的に選択されます。

シフト + タブを打つと並び替え順と関わらず、ABC 順で前の項目は自動的に選択されま

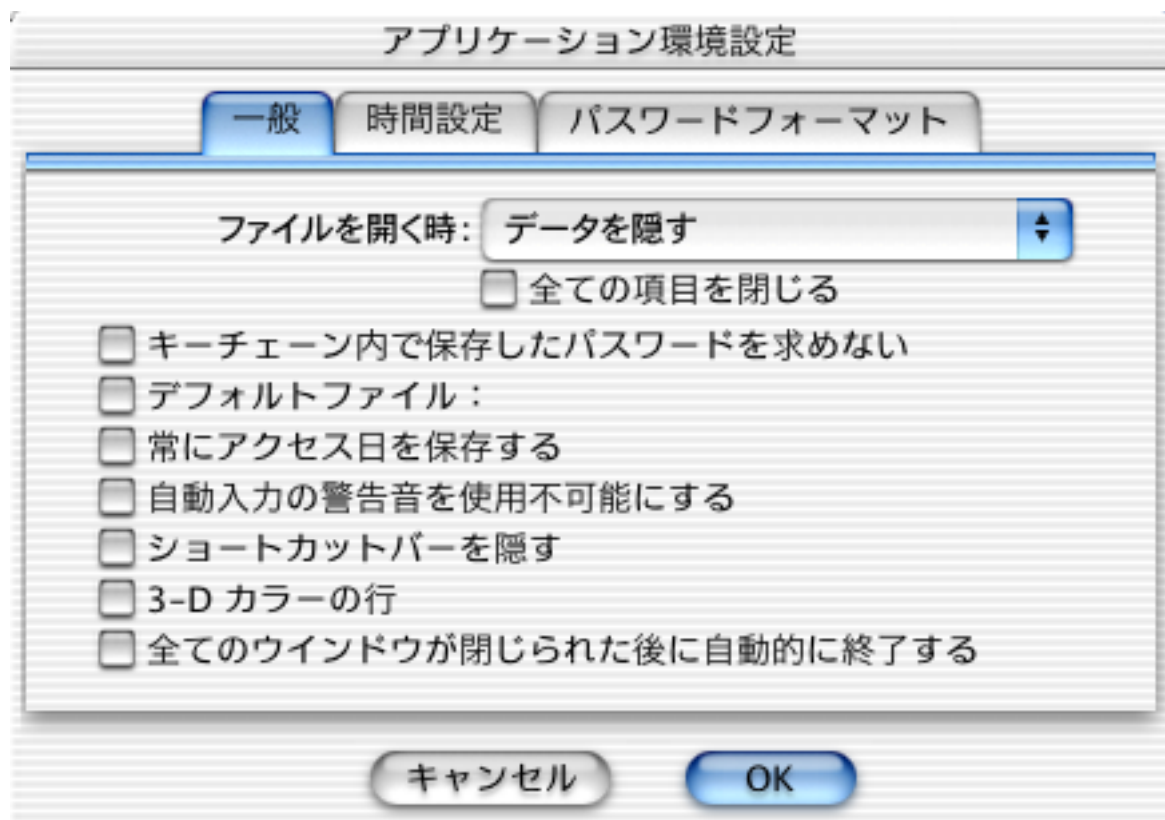
ショートカットバー

「地球」をクリックすると「URL を開く」コマンドは実行されます。

「人」をクリックするとユーザー名はクリップボードへコピーされます。

「鍵」をクリックするとパスワードはクリップボードへコピーされます。

一般設定：



ファイルを開く時（ポップアップメニュー）：

データを隠す： ファイルを開く時にデータの代わりに常に丸を表示する。

データを表示： ファイルを開く時にデータを常にプレーンテキストで表示する。

保存した設定を使用： 前回はファイルを保存した時にされていた設定を使用します。

全ての項目を閉じる： 書類を開く時に全ての項目は自動的に閉じられます。

キーチェーン内で保存したパスワードを求めない： あなたのマスターパスワードを macOS のキーチェーン内で保存すると PasswordWallet (tm) でファイルを開く時にパスワードを入力する必要はありません。ただし、キーチェーン内で保存されているパスワードが間違っている場合、パスワードは常に求められます。

デフォルトファイル： このボックスをチェックすると PasswordWallet (tm) アプリケーションをダブルクリックする時に自動的に開かれるファイルを設定できます。

常にアクセス日を保存する： データの変更と関わらず、ファイルにアクセスする日付は保存されます。

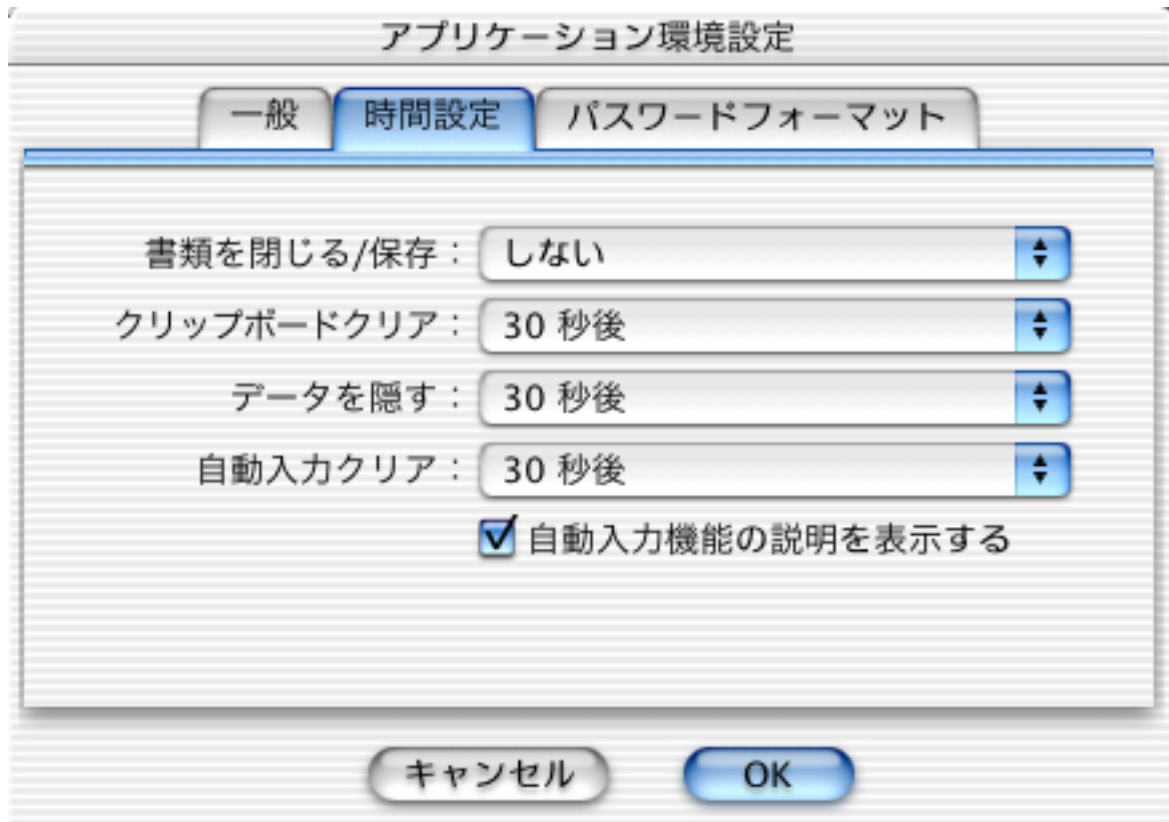
自動入力の警告音を使用不可能にする： 自動入力機能を使用する時に警告音を使用不可能にすることができます。

ショートカットバーを隠す： メインウィンドウのショートカットバー表示を切り替えます。

3-D カラーの行： メインウィンドウ内の行の表示設定を切り替えます。

全てのウィンドウが閉じられた後に自動的に終了する：全てのウィンドウを閉じるとアプリケーションは自動的に終了されます。

時間設定：



書類を閉じる/保存： ファイルを自動的に閉じる/保存する機能の設定です。

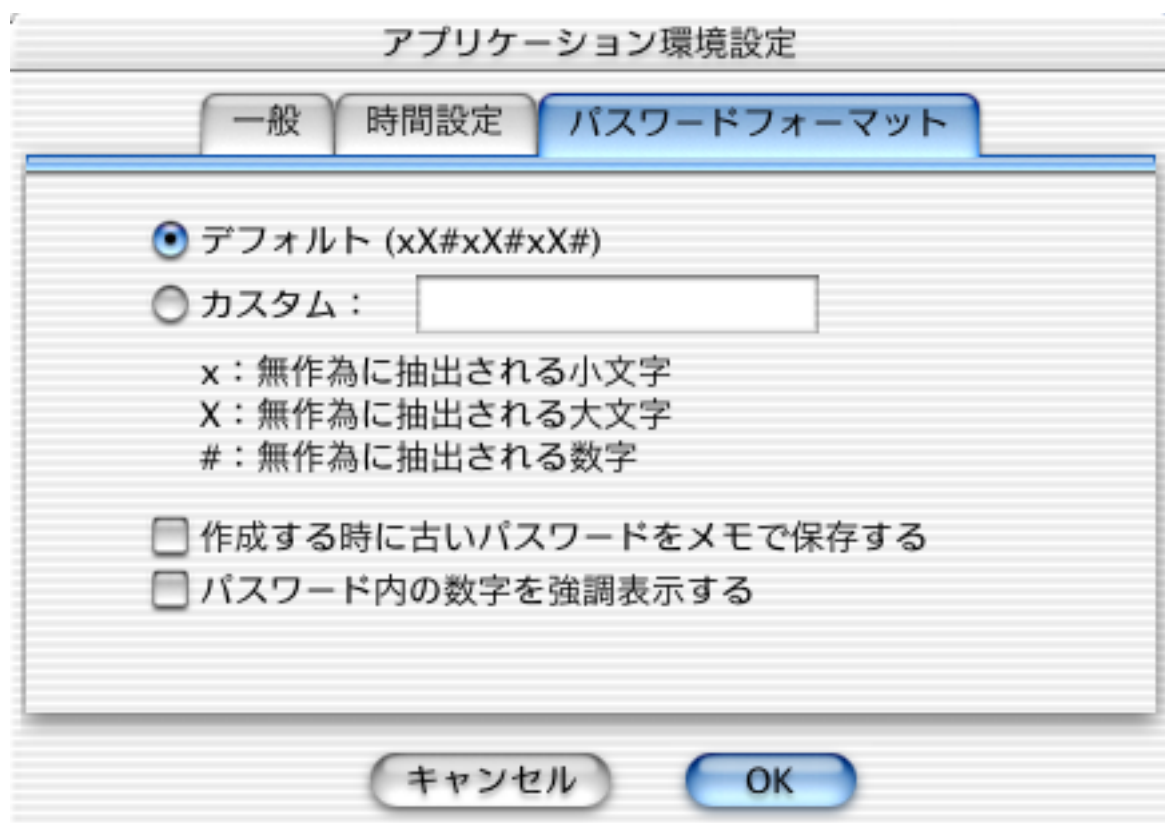
クリップボードクリア： 「コピー」操作を実行してからクリップボードの内容が自動的に削除されるまでの時間をこのポップアップメニューから選択します。

データを隠す： 設定された時間を超えると財布内のデータは自動的に隠されます。

自動入力クリア： 「URL を開く」操作を実行してからバッファの内容が自動的に削除されるまでの時間をこのポップアップメニューから選択します。

自動入力機能の説明を表示する： このチェックボックスを選択すると自動入力機能が実行される前に機能についての説明はダイアログで表示されます。

パスワードフォーマット :



パスワードを自動的に作成する時のフォーマット設定 :

デフォルト (xX#xX#xX#) : デフォルトフォーマットを使用します。

カスタム : パスワードを自動的に作成する時にこのテキストフィールドで入力されているカスタムフォーマットを使用します。x、X、# 以外の文字は無視されます。このフィールドに何も入力されていない時にデフォルト設定は自動的に使用されます。

作成する時に古いパスワードをメモで保存する : 新しいパスワードを作成する時に古いパスワードはメモフィールドで自動的に保存されます。

パスワード内の数字を強調表示する : 分かりやすくするためにパスワード内の数字は自動的に強調表示されます。

自動入力機能（ウェブページにユーザー名&パスワードの自動入力）

PasswordWallet (tm) の自動入力機能によってウェブページのフォームであなたのユーザー名とパスワードは自動的に入力されます：

1. PasswordWallet (tm) のどちらかのコマンドを使用します：URL を開く、ユーザー名をコピー、パスワードをコピー、URL をコピー
2. ウェブページをブラウザで開きます。
3. カーソルをユーザー名のテキストフィールドに挿入します。
4. 警告音が鳴るまでにオプションキーを押さえます。
5. オプションキーを離します。
6. 完了です！

ユーザー名とパスワードは自動的にウェブフォームで入力されます。上手くいかない場合は下のセクションをご覧ください。

自動入力の問題点：

デフォルトでこの操作を 30 秒以内で実行させないと無効になります。この時間は初期設定ダイアログで設定することができます。

自動入力機能はシステムのモーダルダイアログで使用不可能で、プログラムによってユーザー名とパスワードはモーダルダイアログで求められます。将来のリリースでこの問題を解決する予定です。

動作環境

PasswordWallet (tm) を使用するために CarbonLib 機能拡張が必要です。この機能拡張は MacOS 8.1 以降のシステムでデフォルトでインストールされています。PasswordWallet (tm) を使用するために MacOS 8.1 以降が必要です。CarbonLib についての詳しいことは「CarbonLib について」書類をご覧ください。

アップグレード方法

あなたの PasswordWallet ファイルを最新バージョンのフォーマットへアップデートすることについての詳しいことは「読んで下さい」書類をご覧ください。

インストール方法

PasswordWallet (tm) for Macintosh は <http://www.bridge1.com> からダウンロードすることができます。ダウンロードされるアーカイブに下記のファイルは添付されています：

1. 「読んで下さい」書類：最新バージョンについての情報や一般的の情報が載っています。
2. PasswordWallet (tm)：PasswordWallet (tm) のアプリケーションです。解凍されたアプリケーションをハードディスク上の好きな場所へ移動させるだけでインストール完了です。
3. PasswordWallet (tm) コンジット：このファイルを Palm フォルダ内のコンジットフォルダに入れます。パスワードファイルを PalmOS バージョン（**日本語版は作成中です**）とシンクロナイズすることについての詳しいことは下のセクションをご覧ください。PalmOS 用のハンドヘルドデバイスを使用していないか、PasswordWallet (tm) for PalmOS を使用していないならばこのファイルは一切必要ありません。
4. S3 パスワード入力：登録コードを購入して頂くとこのプログラムを使用し PasswordWallet (tm) を登録します。ご支援ありがとうございます！

PasswordWallet で作成する書類をハードディスクやサーバの好きな場所で保存することができます。また、パスワードファイルの名前を自由に変更することもできます。ファイルの保存場所や名前の制限は PasswordWallet (tm) 2.0 で取り除きました。

パスワードファイルが不正確になってしまうと暗号化を解読することができないことがありますので、あなたのパスワードファイルを定期的にバックアップして下さい。

PasswordWallet (tm) コンジットのインストール

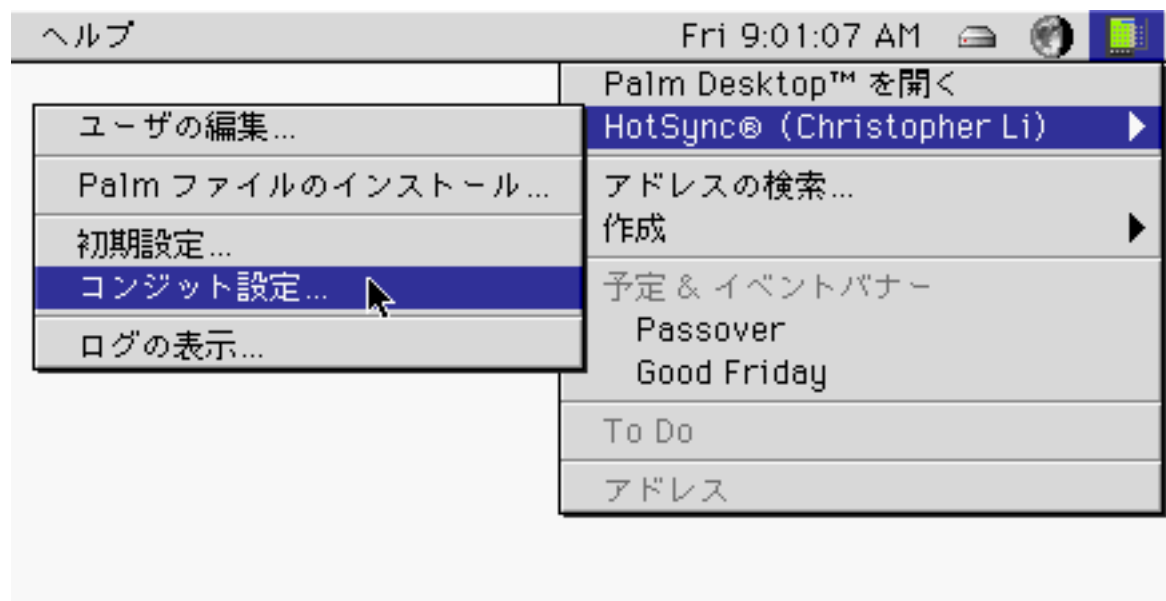
PasswordWallet (tm) コンジット（**日本語版は作成中です**）を下記の通りにインストールします：

1. PasswordWallet (tm) アプリケーションをインストールします。
2. PasswordWallet (tm) コンジットを Palm フォルダ内のコンジットフォルダに入れます。
3. 完了です。コンジットの設定については下記のセクションをご覧ください。

PasswordWallet (tm) コンジットの設定

1. PasswordWallet (tm) アプリケーションをインストールします。
1. PasswordWallet (tm) コンジット（**日本語版は作成中です**）をインストールします。
3. メニューバー内の Palm メニューの HotSync サブメニューから**コンジット設定**項目を

選択します (MacOS X ハードディスク上の「HotSync(R) マネージャ」を起動してからこのメニューをアクセスします)。



4. 下記のようなウインドウは表示されます :



5. PasswordWallet (tm) 項目をダブルクリックします。

6. 下記のようなウインドウは表示されます：



7. ファイルを同期するオプションをクリックします。

8. シンクロナイズする PasswordWallet (tm) ファイルを選択します。

9. 「OK」ボタンをクリックして、コンジット設定ウインドウを閉じます。

10. 完了です。

注意： Macintosh 側のマスターパスワードと Palm 側のマスターパスワードが 一致していないとシンクロナイズ操作は実行されません。コンジットを使用する時にデータは暗号化されないため、マスターパスワードは同じでないと HotSync(R) のエラーは発生してしまいます。

1. PasswordWallet アプリケーションをダブルクリックすると PasswordWallet の書類は開かれませんか？

PasswordWallet バージョン 2.0 以降でパスワードのデフォルトファイルはありません。複数ファイルを開くことができますので、パスワード書類をダブルクリックして下さい。ただし、初期設定ダイアログでアプリケーションを起動する時に自動的に開けられるファイルを設定することができます。

2. パスワードをなくしてしまいました！ PasswordWallet のファイルはどうやってアクセスできますか？

パスワードをなくしてしまうと PasswordWallet のファイルを一切開いたり、アクセスしたりすることができません。

3. PasswordWallet のマスターパスワードを MacOS のキーチェーン内で保存しても安全ですか？

多分。キーチェーンは通常のテキストファイルで保存するより安全ですが、キーチェーンで使用される暗号化技術は PasswordWallet の暗号化技術より弱いです。

4. PasswordWallet をアクセスすることができるハッカーはご存知ですか？

いいえ。知っている限りに PasswordWallet で使用されている暗号化技術は強制的に解読されたことはありません。

5. パスワードの最長の長さは何文字ですか？

パスワードは 73 文字 (半角ローマ字) までです。これは国輸出管理法に従い暗号化技術を輸出するための特別許可を取った時の条件です。

6. PalmOS バージョンはありますか？

はい。ただし、PalmOS バージョンの日本語版は作成中です。

7. Kaleidoscope を使用すると PasswordWallet はきれいに表示されません。

Kaleidoscope を取り除いて下さい。

8. PasswordWallet (tm) で「URL を開く」コマンドを使用する時に何でブラウザは正しく起動されませんか？

ブラウザはインターネットコントロールパネルで正しく設定されていることを確認して下さい。PasswordWallet (tm) はこの設定によって URL を開きます。

9. 私のパスワードは本当に安全ですか？

書類ファイルのパスワードを設定して、「OK」ボタンをクリックするとあなたのデータは即座に暗号化されます。パスワードを再度入力しない限りにそのデータを解読する方法は

一切ありません。

10. マスターパスワードをキーチェーン内で保存しました。キーチェーンをアクセスするためのパスワードは覚えています。PasswordWallet のマスターパスワードを忘れてしまいました。マスターパスワードはどうやって確認できますか？
キーチェーンアクセスコントロールパネルでパスワードをダブルクリックしてからパスワードを表示するオプションを選択します。マスターパスワードは表示されます。

著作権 (c) Selznick Scientific Software, LLC, 2001